



東北関東大震災から Revival!

松島医療生活協同組合

発行 2011年4月11日

対策本部長 青井克夫 NO 12

今日（4/11）で東日本大震災から1カ月。全国から支援ありがとうございます。

歯科・日曜臨時診療

4/10 日曜日の臨時診療は、外来患者数 17名でした。「3月の未 Set の技工物がやっと入った」と喜んでた人もいました。当面、日曜臨時診療は当面継続予定です。今日（4/11）は、大阪民医連歯科が入り、石巻方面への被災地支援に行きます。

デイ 20 名の利用者

エレベーターが故障の中、今日は 20 名の利用者です。階段を車いすで搬送 8 名。（協力よろしくね！）
「家のおばあちゃん車椅子だから診療所の2階は無理とっていました。でも、スタッフの方が運んでくれたんです」...とっても喜んで家族が村山ケアマネにつぶやきました。

支援活動の到達点

- 組合員・地域住民訪問 642 軒、
(4月8日現在)
 - *松島町 (約 350 軒)
 - *鳴瀬地域 (約 250 軒)
 - 矢本地域 (約 50 軒)
- 組合員・連日の炊き出し
全国からの支援隊に少しでも感謝のメッセージを伝えようと組合員が交代で炊き出しを実施中！

震災後約 1 か月時点の主な要求

(特に高齢者・独居者ほど切実)

- * ヘドロをはじめとする住居のかたづけがままならない。援助がほしい。(行政、自衛隊がはいっているがヘドロの規模が大きく相当の労力と時間がかかる)
- * 医療機関についての情報がない。受診しようにも車を失い「足」がない。(特に東松島市矢本地域) BA、HT 患者など薬が不足。
- * 心身の疲労が蓄積し、足腰の痛みが増している。かたづけ作業で土ほこりが舞い気管支に悪影響。かぜもはやり始めている。
- * 「震災以来じっくり話をすることがなかった。支援隊が来てくれて 3 週間ぶりに話ができて笑うことができた」
- * 「仕事、収入の展望がまったくくない。これからどうしたらよいか」(ハローワークは常時満員状況)
- * (避難所……松島町に 5 か所、東松島市に約 60 か所……は県関係の医療チームがはいっているということで民医連支援活動の対象外にしたが、組合員が多くいる避難所に 1 度行ったところ) 県関係医療チームの避難所活動は 3 月末で終了し、現在は臨時的に行っているとのこと(週 1~2 回)。避難者の健康悪化、ストレスがすすんでいる。高齢者とともに子どもの精神的フォローも必要。医療費などの情報も不足している。くつした、下着などが不足気味。避難所から受診する場合の「足」もない。

(記 岩須靖弘)

松島の3大産業が壊滅的被害

- 観光……ホテル・旅館の営業が危機的状況
- 漁業……舟・網・棚などの多くが流されるか破壊された。養殖も壊滅。
- 農業……海水によって数年は田や畑で耕作できない

「松島の3大産業が『死んでしまった』。そのなかで、住民のいのちとくらしの守り手医療生協が元気でがんばり必要な役割を果たしていかなければならない」(大友理事長)

4/9 (土) 各事業所の状況

「医科」 → 午前 40 名、21017 点
累計 353834 点

「歯科」 → 23 名

「訪問看護」 → 訪問件数 4 件

- ◎ 毎日 17:00 からの「支援者報告会」に参加可能な職員は参加しよう！
- ◎ この機会に全国の仲間と交流を！
- ◎ まず、明るい声で「あいさつ」から